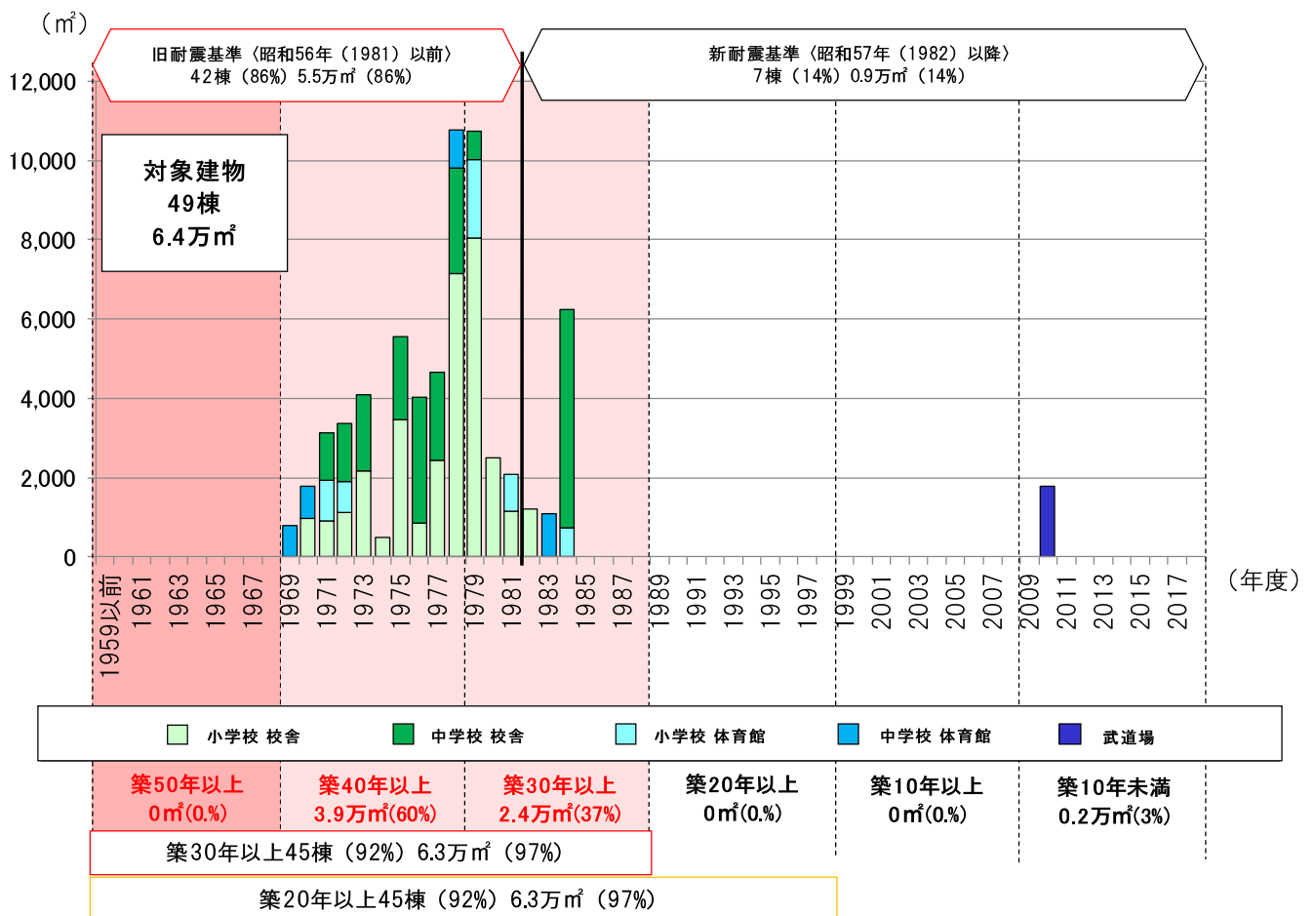


学校再編の検討理由及び経緯について

1 学校再編の検討理由について

- ①学校施設の老朽化に伴う安全・快適な環境の向上
- ②児童生徒数が減少する中での学校運営の充実
- ③社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充
- ④学び・生活空間としての施設の充実
- ⑤地域コミュニティ施設としての活用場の充実

【学校施設の保有状況】

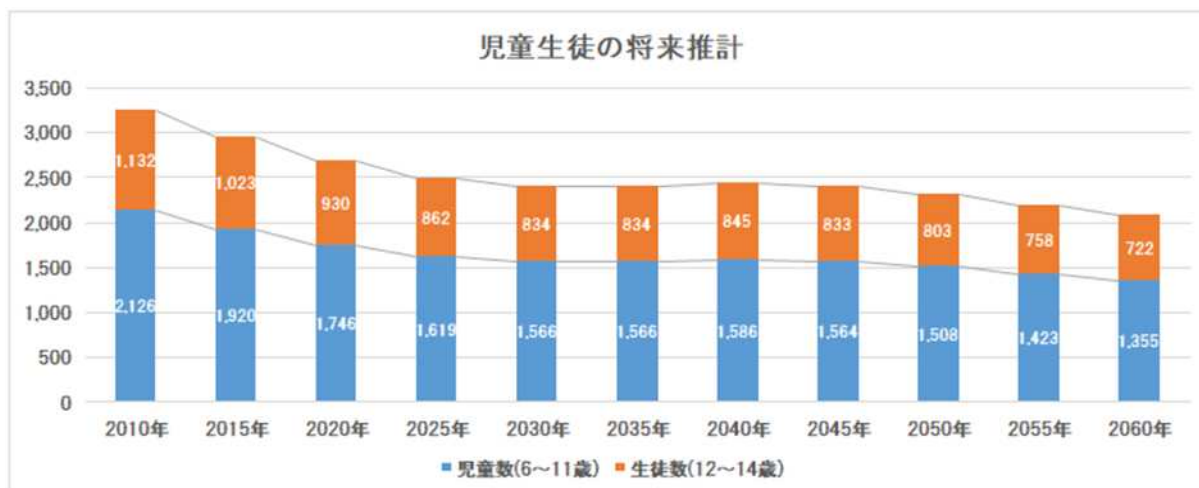


資料：中間市学校施設長寿命化計画(H31 年 3 月策定)

○屋上や外壁に広範囲の劣化や雨漏りの事例

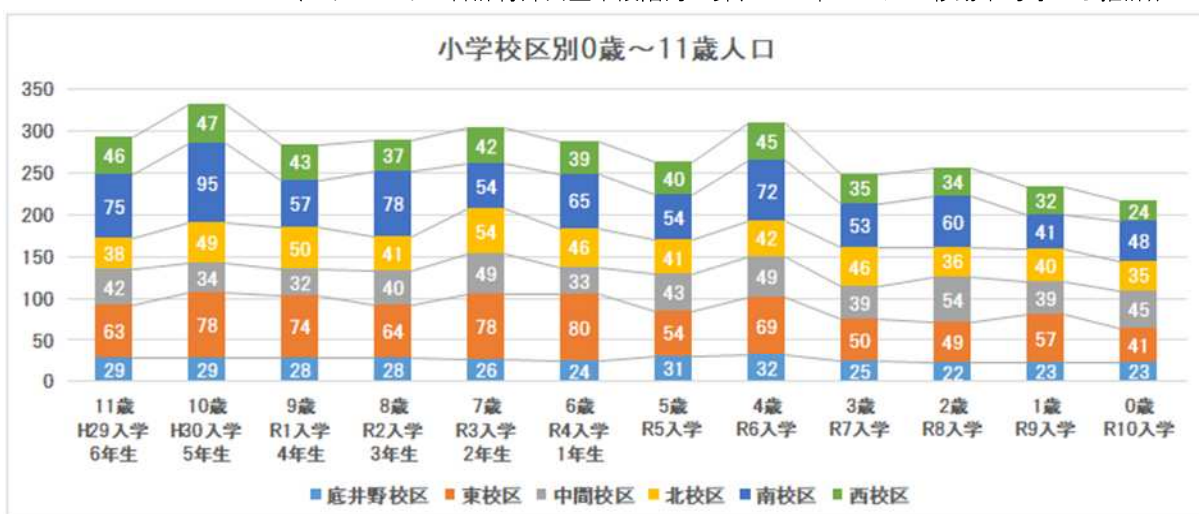


【児童生徒数の推移】



資料：中間市学校施設長寿化計画(H31 年 3 月策定)

(パターンⅠ：合計特殊出生率段階的上昇(2040 年 1.8+人口移動率均等から推計))



資料：住民基本台帳(令和 4 年 5 月 1 日現在)

【学校に求められる機能】

- ①ICT や外国語、道徳教育の充実等の教育内容の多様化に対応できる十分な教室面積や多目的スペースの確保
- ②高速大容量通信ネットワーク等の ICT 環境の整備（校舎、体育館、武道場）
- ③教室用机の新規格への対応
- ④空調設備の整備（体育館、特別教室を含む）
- ⑤多様性に配慮したトイレ設備の整備
- ⑥エレベータやスロープによる段差のないバリアフリー環境の整備
- ⑦照明設備の LED 化、再生可能エネルギー、木材の活用、高断熱化など環境に配慮した整備
- ⑧避難所として地域コミュニティ機能を有する防災、減災、耐震対策の充実
- ⑨安全安心な通学環境（車道と歩道の分離、送迎等に対応できる駐車場や駐輪場の確保）
- ⑩見通しがよく防犯性を確保した外構整備、段差の少ない広々とした敷地にある校舎、体育館、グラウンド環境
- ⑪不安を感じる生徒のための相談室等の居場所の確保
- ⑫教職員の働き方改革や部活動の地域展開を見据えた施設整備(プール施設や体育館施設)



どこかとどこかの学校だけを統廃合するのではなく、市内小中学校全 10 校を対象に再編し、時代のニーズに合った充実した最新の施設設備のある「子供たちが通いたい学校、保護者が通わせたい学校、教職員が働きたい学校」を目指している。

平成31年3月 中間市学校施設長寿命化計画 策定

中長期的な視点で、施設整備に要するライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化、児童生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実を図ることを目的として策定。学校施設の適正規模化を目指す。

中間市学校施設再編基本計画策定委員会

令和4年4月 中間市学校施設再編基本計画 策定

統廃合ではなく、新しい未来の学校施設をつくるための学校再編とし、将来にわたって持続可能な学級数を確保できる学校規模を目指し、子供たちに最適な教育環境を整備することができる、将来の学校のあり方を示すことを目的として策定。

子供たちの学び、生活を育み、教育の質の向上を図ることができる学校規模を目指すため、小学校3校・中学校2校以内の5つの組み合わせ案(1小1中、2小1中、3小1中、2小2中、3小2中)を検討。

令和4年11月 中間市学校施設整備方針(案) 策定

市のまちづくりの方向性を踏まえつつ、一人一人の可能性を引き出し、個別最適な学びと協働の学びの実現に向け、児童生徒に最適な教育環境を整備し、充実した環境の中で更なる教育の質の向上を図ることができる学校施設の配置案の検討を行い、これからの教育に対応できる学校施設の整備を目指した方針。配置案として11案を検討。

学校再編に関する住民説明会・パブリックコメントの実施

令和5年4月 中間市学校施設整備方針(案) 市長へ提言

全市的なまちづくりの見地から市内における検討

令和7年1月 中間市学校施設整備方針 策定

主な方針①「子供たちが通いたい学校、保護者が通わせたい学校、教職員が働きたい学校」

②小学校に先行して中学校4校を2校に再編する。

③現中間中学校及び中間東中学校敷地を活用する。

中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会

中間市立小中学校通学区域審議会 設置予定

教育委員会からの諮問に応じ、市立小中学校の通学区域の設定、廃止及び変更に関する事項について、調査、審議し、答申する。

中間市立新中学校開校準備協議会(仮) 設置予定

学校の特色づくりや地域との連携づくり、校名・校歌・校則・制服、防犯・防災体制など、開校に向けたさまざまな課題を検討する。

学校再編に関する諮問における論点の整理について

1 中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会と新中学校施設整備実施計画との関係性について

教育委員会

新中学校施設整備実施計画の策定

時代のニーズに合った学校づくりを行う中で、設計・施工に向けて、敷地内外の課題について、実現可能な整備方法を具体的に検討した施設整備計画を策定する。

【時代のニーズに合った学校づくりを行う上での課題】

①校舎、体育館、武道場等の整備の方向性

→新築又は長寿命化改修等の検討

②敷地内段差や法面の整備の方向性

→敷地内段差や樹木が繁茂した法面の整備の検討

③アクセス道の整備の方向性

→学校敷地内へのアクセス道の整備の検討

④施設整備計画の方向性

→プール施設の整備の検討

教育委員会事務局は、新中学校施設整備実施計画の策定に向けて、施設整備の方向性が検討できる比較検討資料を、中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会委員に提示し、新中学校の施設整備の方向性について、保護者や教員、まちづくりの視点から調査、審議をしていただく。



中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会

教育委員会は、中間中学校及び中間東中学校敷地における時代のニーズに合った学校づくりについて諮問。調査、審議ができるよう、各課題の論点を整理の上、比較検討資料を提示し、施設整備の方向性について答申をいただく。

【諮問における論点】

- ①校舎や体育館、武道場等の新築又は長寿命化改修等による施設整備の方向性
- ②敷地内の高低差の解消や樹木が繁茂した法面の整備の方向性
- ③安全安心な通学環境や災害時の避難所としてのアクセス道の整備の方向性
- ④プール施設の整備の方向性

2 諮問における論点の整理について

論点①

校舎や体育館、武道場等の新築又は長寿命化改修等による施設整備の方向性

- 現在の学校に求められる機能を有する学校づくりはどうあるべきか。
- 今回実施する耐力度調査の結果を踏まえ、新築又は長寿命化改修等のメリット・デメリットを比較検討した中で、新築すべきか長寿命化改修等をすべきなのかご審議をいただきたい。

論点②

敷地内の高低差の解消や樹木が繁茂した法面の整備の方向性

- 敷地を安全かつ効率的に活用するにはどうすべきか。
- 樹木が繁茂し、擁壁が老朽化している法面をどうすべきか。
- 敷地内高低差の解消方法や法面の維持管理方法を比較検討した中で、整備の方向性についてご審議をいただきたい。

論点③

安全安心な通学環境や災害時の避難所としてのアクセス道の整備の方向性

- 安全安心な通学路を確保するために、学校敷地へのアクセス道をどうすべきか。
- 災害時の避難所として、学校敷地へのアクセス道はどうすべきか。
- 現状を踏まえ、アクセス道の新設や既存道路の拡幅などを整備の方法を比較検討した中で、整備の方向性についてご審議をいただきたい。

論点④

プール施設の整備の方向性

- プール施設は新中学校に整備すべきか、現状や教職員の働き方改革を踏まえ、整備の方向性についてご審議をいただきたい。